

■ **貞明皇后** **大正天皇の皇后。宮中における一夫一婦制の最初の例といわれる。**

ていめいこうこう

秩父事件・1884 = 公爵九条道孝の四女に生まれる。母は野間幾子。名は節子。東京杉並村の農家に里子に出され、

遅しく育つ。

初の対等条約1888 = 4歳：

帝国憲法発布1889 = 5歳：

帝国議会始・1890 = 6歳：学齢になって、実家に戻り、

郡司千島探検1893 = **9歳**：

日清戦争始・1894 = 10歳：

華族女学校中学部卒業。

比阿国産化・1900 = 16歳：***皇太子嘉仁親王と結婚。宮中における一夫一婦制の最初の例といわれる。**

田中正造直訴1901 = 17歳：裕仁(昭和天皇)を、

教科書疑獄・1902 = **18歳**：ついで雁仁(秩父宮)、

日露戦争終・1905 = 21歳：宣仁(高松宮)、

大逆事件判決1911 = **27歳**：

明治天皇没・1912 = 28歳：***嘉仁親王の大正天皇即位に伴い、皇后宣下。**

21ヶ条要求・1915 = 31歳：崇仁(三笠宮)各親王を生む。

この間、各地の灯台守職員の慰問、蚕糸業奨励などに尽力する一方、救癩事業(ハンセン病)に使命感を抱くようになり、

大暴落・1920 = **36歳**：**天皇の病気が国民の知るところになり、政治的陰謀もなされる事態にもなったが、**

原敬首相暗殺1921 = 37歳：沼津御用邸へ赴く途上に存在を知ったハンセン病療養施設{神山復生病院}下賜金を与えて活動を支援。皇太子裕仁が摂政になる。

関東大震災・1923 = 39歳：関東大震災発生当時は、天皇とともに日光田母沢御用邸に滞在中であったが、天皇に代わる政治的主体として、宮内省巡回救療班を設置、配布したピラには、皇后の御心に由来するメッセージが記され。帰京後、泉橋慈善病院、日本赤十字社病院を皮切りに、病院や罹災者収容施設を多数訪問し続けた。

円本時代始・1926 = 42歳：***天皇死去により、皇太后となる。天皇の病状悪化に臨み、自ら遺書を認めていたと言い、以後ずっと黒または紫の衣服しか着用しなくなった。**

世界恐慌・1929 = **45歳**：

満州事変・1931 = 47歳：下賜金をもとに、{癩予防協会}が設立される。

日中戦争始・1937 = 53歳：

総動員+健保 1938 = **54歳**：

日米開戦・1941 = 57歳：

敗戦・1945 = 61歳：

新憲法施行・1947 = **63歳**：

独立回復・1951 = 67歳：狭心症で、**没した。**

東京八王子の多摩東陵に葬られた。「貞明皇后御歌集」二巻と「貞明皇后詩集」一巻がある。